

五中地域の意見交換会でいただいたご意見

分類	意見
①各案に対するご意見	
案1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案1が良いのかなと思う。 (理由) <ul style="list-style-type: none"> ・ 案4と案5は、中小校区の通学距離の問題が解決していないので、優先度は下がる。 ・ 教員の働きやすさは重要な観点。学校の距離が遠いと連携がしにくく大変だと思うので、一貫校の方がいいのかなとは思う。そう考えると案6の順位も落ちる。 ・ 教育委員会が1つに対して、学校を新たに2つ作るとなれば、労力が分散し大変だと思うので案3も少し優先順位が落ちる。 ・ 残る案1か案2がコストも含め現実的かと思う。ハード面はお金をかければよいが、その後のソフト面のほうが難しい。ソフト面に労力をさけるほうが市民にとってもよいと思うので、案1なのかなと思う。 ・ 案1は中小からしたら分離型になる。子どもたちへの影響を心配しておりそれをクリアしていくという説明があったが、どういうふうクリアにするのかがよく理解ができない。 ・ 案1は、船場一貫校のデメリットを解消するために中小がいるように思えてしまう。実験されている感じがある。 ・ 案1が最良だと感じた。 (理由) <ul style="list-style-type: none"> ・ 案2は、単に船場に施設一体型小中一貫校を作りたいを実現しただけの案で一貫校にすることで中小が追いやられているような印象を受けた。 ・ 案3は、今後の少子化を考えると今から小規模校を作るのは現実的ではないと感じた。 ・ 案4、5は、過去に様々な検討の上、今の校区が決定していることを大切にしてほしいので校区を変えることは望ましくないと感じる。毎日の通学距離が長くなることは安全性の面で心配。 ・ 案6は上記デメリットがなく、船場地区のマンション建設による人口増を考えると一般的な案ではあると感じる。 ・ その上で案1が最良だと感じた理由として、案6同様にデメリットがない上、中小児童も中学校進学時には施設一体型小中一貫校のメリットを享受できる機会がある。 ・ ただし、案を変更することにより削減したコストは教育に対して使ってほしい。五中跡地は五中地域のためになるよう活用してほしい。

分類	意見
案 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小から五中に通わせる想定で中小校区に家を買われた方もおられると思う。中学校が変わることを嫌う保護者がいるのではないか。
案 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案 3 が良い。箕面団地跡地を購入し、なか一貫校の敷地を確保したらいいのではないか。 ・ 案 3 が 1 番いい。2035 年時点のなか一貫校の学級数は、現在の中小の学級数と同程度なので増築等も不要ではないか。案 1 になると、中小が合流することで仲間外れなどの不安がある。 ・ なぜコストがこんなにもかかるのかご説明いただきたい。 ・ 平成 28 年に教育委員会から市長に「小中一貫校が望ましい」という意見を述べた。この背景や考え方というのはとてもよかったんじゃないか。これをそのまま肉付けしながら進めていただきたかった。 ・ 船場に施設一体型小中一貫校を作り五中を中小に移転する案 3 で整理をしていただければ、一番落ち着くんじゃないかと思っている。
案 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案 4 がいい。止々呂美の学校を見学に行ったことがあるがすごく楽しそうに勉強されていた。施設一体型小中一貫校はいいと思う。
案 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの案も子どもたちのメリットをあまり感じない。案 6 以外は、子どものメリットは少なくデメリットが多いのではないか。 ・ 案 6 のデメリットに「箕面市のまちづくりへの影響が小さい」とあるが、とりあえず小中一貫校をつくれればまちづくりが良いものになるだろうというニュアンスしか感じ取れない。これでは賛成しかねる案がたくさん出ていると思った。 ・ 案 6 しか考えられない。通学上の安全も確保できるし、小中連携も今よりも密になると思うのですごくいい。 ・ 箕面市全体を施設一体型小中一貫校にすると本気で思ったら、30 年～50 年かかる事業。再検討するなら 30 年～50 年規模のグラウンドプランをもって示さないと本気でやる気がないと感じる。だから、案 6 しか考えられない。 ・ 施設一体型小中一貫校を作るより、小学校のみの建設がいいと思った。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五中卒業生に話を聞いたが、中小出身者が多い第五中学校に萱野小の一部の子が進学する状況には精神的な負担があったらしい。今回の校種再検討の話をしたら、当時の自分たちと同じ思いをさせることは絶対やめた方がよいという意見だった。 ・ 案 1 について、将来的に教員の人数がある程度いないと、このようなきめ細かい対策はとれない。先生の人数予測をきちんと考えているのかという疑問はある。 ・ まちづくりのための学校をつくるのではなくて子どものための学校を作ってほしいと思っている。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ (現状は) 第五中学校の7割が中小出身で3割が萱野小出身。しかし、おとなしい子もいれば、勢いを持って勉強や運動をしている子もいる。人それぞれバラバラなので、社会というものをその環境で学んでいただければよいと思う。 ・ 豊中市は、施設一体型小中一貫校で、年長者・年少者の交流を通して人間を鍛えていく部分を非常に強調して頑張っている。箕面市も努力していただければと思う。 ・ 案を拝見すると、可能性があるのは、船場小中一貫校、中小に小中一貫校、五中に小中一貫校の3つ。実際に小中一貫校を設けるスペースがあるのかをもう少し具体的に示してほしい。 ・ 実現の可能性が高いのは案1、案5、案6ではないかと考える。 ・ マンモス校はできるだけ避けてほしい。子どもたちにとって影響がでないプランで進めてほしい。 ・ 中小を小中一貫にして北小と中小の2小1中のプランはどうか。 ・ 6案のうち5案は施設一体型小中一貫校の案。市と教育委員会は施設一体型小中一貫校を進めているんだと感じた。 ・ まちづくりと小中一貫教育・施設一体型小中一貫校は別物だと思う。彩都のように何も無いところからつくった学校と、今回のように再編の場合とを一緒にしないでほしいと思った。
②小中一貫教育に関するご意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育を進めていくうえでは、教職員の資質向上は不可欠だろう。 ・ 船場新設校のことだけでなく、市全体で小中一貫教育自体を強く進めていくというアピールが必要 ・ 小中一貫教育について、本当にいいのかどうかということが全くわからない。施設一体型では小学校の卒業式がなく、それを聞くと嫌という人もいる。 ・ 子どもは9年間で見えていくと言うけど、学校の先生は9年間いない。学校の先生はころころ変わるけども、子どもは一貫教育ですというのはおかしな話 ・ 箱をつくったから先生が育つわけではない。ソフト面に時間とお金を費やし、安心して子どもを預けられるような先生がたを育てていただけるほうがいい。 ・ 箕面市は施設分離型もあれば複合型もありバラバラ。小中一貫教育をベースにするとしても施設形態によって違いが生じるので、そこにも焦点を当てて整理いただきたい。 ・ 中学校の教員が小学校高学年の授業を見る余裕があるのか、現場の先生の意見を聞いてほしい。 ・ 箕面市が小中一貫教育を進めていく方針は良いと思うので、その観点から案を2案ぐらいにあらかじめ絞っても良かったのではないか。
③施設一体型小中一貫校に関するご意見	

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設一体型にすると先生の負担はどうなるのか。負担が大きいと、教員になりたいと思う人も減ると思う。 ・ 施設一体型小中一貫校だとマンモス校になってしまう。子どもは、人が多すぎると自分をみてもらえていない、地域からも認知されづらいと思うのではないか。 ・ 個人的に施設一体型小中一貫校には否定的な立場だったが、これだけの資料を準備いただき説明を聞いていると、施設一体型小中一貫校にすることは賛成できる。 ・ 私立中学校に進学する子どもが多い中、最先端の施設一体型小中一貫校という環境を構築することで、市外の私立学校に子どもたちが流れていくことを防ぐことが期待できると思う。 ・ やはり箕面の子どもたちは、しっかりと箕面で育てていただきたいと思っている。 ・ 施設一体型小中一貫校の場合、運動場・体育館が共用だと子どもに影響があると思う。 ・ 人間関係の合う合わないはこの世界にもある話。そこは6年間であろうと9年間であろうと割り切るしかないと思っており、そういうところを施設一体型小中一貫校のデメリットとして強調するのはあまり良くないと思う。 ・ 現状の施設一体型小中一貫校のデメリットが説明されていない。小1～中3が一緒の現場の活動のしにくさや教育的効果、人口がすくない時はよかったが、人口急増で施設的にも人員的にも対応が大変になったことなど。行事が「手うす」になっていったことなど。 ・ 教育の効果についても何をもって効果があったと測るのか。
④第五中学校の移転に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に五中を建てる際、地域の方々が大変苦勞をされたと聞く。その時の話は全く無視されているように感じるが、教育委員会としてどう考えているか。 ・ 家の近くに五中があるので、跡地問題は非常に気になる。また方向性を絞り込むと思うので、その際にご提案いただいたら、私たちも一緒に考えたい。
⑤校種再検討の進め方・再検討そのものに関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討プロセスの中に子どもたちの意見をしっかり入れ込むということは、教育・子どもを考える上でベースになること。 ・ 検討時、子どもたちはこういう意見を出して、教育委員会の大人達はその意見を聞いてこういう案を出したということを残す意味でも、子どもの意見を何かしら反映させることをぜひしてほしい。 ・ 過去の経過について、いろいろと意見が出てくるのは仕方がない。「未来の子どもたちのためにどうすればよいか」を考えて取り組んでほしい。 ・ 小学校設置は決まった話。過去積み重ねた議論をそう簡単に覆していいのか。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的なまちづくりと言っていたが何の関係があるのか。小中一貫校は魅力的なのか。 ・ 小中一貫教育の必要性・メリットはわかった。でも施設一体型でなくても小中一貫教育はできる。 ・ これまでの議論を全く無駄にするようなことを今やろうとしている。大勢の市民の方も巻き込んで達した結論をここで覆そうとしている。もしそうならこれまでと同じ熱量でもって、もう一度説明してほしい。 ・ 急いで結論を出そうとしている。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の検討は「答えありき」で進めないでいただきたい。どうすれば子どもたちのためになるか、地域のためになるかという視点で検討いただきたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ この意見交換会が、やらないとだめだからやったという感じがある。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案1は小学校分離校と一貫校の併存で一貫教育を進めていく方針とのことだが、箕面市全体として施設一体型小中一貫校を推進するという方向性をマスタープランとして示すのも一つの方法ではないか。 ・ 施設一体型小中一貫校であろうがあるまいが、教育に関する機会の平等性を確保することが今の最大の仕事である。その後の話として、市内全ての学校を施設一体型小中一貫校とし、全市的な教育機会の平等性と利益の享受を進めるというような視点になっていくのではないだろうか。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案6（現行案）についてデメリットが書かれているが、当時、教育委員会で検討したはず。検討の結果、小学校に決定したのではないのか。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間をかけて小学校と決定したのに、今になって施設一体型小中一貫校にするということは、単純に市長が変わったからかと思う。そのあたりが理解できない。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や教育設備や病院、まして教育は、市長が変わることで方針が変わるとするのはよくない。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ今になってまた施設一体型小中一貫校の話が再燃しているのか、もうひとつじっくりこない。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と決めた際に十分論議をしていなかったのか。校区について市民は時間をさいて通学区域検討ワークショップに参加し、結果的に小学校と決めたのではないのか。 ・ 市長が代わったからこころろ変わるという印象をもつ。施設一体型小中一貫校が箕面市として重要ならもっと市民に成果や課題をこまめに発信し、常に市民に問いかけるべきではないか。私の周りではあまり小中一貫教育のことが理解されていないように感じる。 ・ 施設一体型小中一貫校が前提ではなく、子どもにとっていい学校となる視点で考えてほしい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年に「船場地域に小学校を」という方向が出てきた事については、通学時間を考えると当然の事だったと思う。しかしそのことと施設一体型小中一貫校をひっつけて考えるのはそもそも無理がある（施設一体型小中一貫校が反対という

分類	意見
	ことではない)。どの校区も同じ条件で教育を受けられることが大事だと思う。
開校・検討のスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の新設スケジュールについて、うちの子どもは3歳で、中学校が間に合うかくらいの微妙な時期。スムーズにやっていただきたい。 ・ (新設校のスケジュールについて) 船場東、特に3丁目は、萱野東小学校までの通学距離が遠い。また、相当な数のマンションができて子どもが増えると思う。早く学校をつくってあげないといけない。 ・ 箕面の子育てのしやすさ“日本一”(これがある中で)とうたっておられ、土地柄や環境に惹かれて引っ越してきた。私の周りのママ友はみんな箕面市外から。その中で唯一気になるところが小学校までの遠さ。親が毎日送り迎えをすることは合っていないと思う。開校時期が令和11年から令和14年に延びたことはとても残念。 ・ 意見交換会の資料を遅くとも1週間前にくださいとお願いしたが、資料が来たのは3日前。見る時間がなく考えをまとめることもできなかった。本当にやる気であれば、長いスケジュールを設定して、緻密に意見交換が出来たり、地域会議で議論が出来たりが必要。やっつけ仕事みたいで腹立たしい。 ・ 検討スケジュールがタイトで無理がある。今年度中に決定するというのは本当に突然の話。
説明会の開催方法・説明内容に対するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明が分かりづらい。なぜコストが案によってこんなに変わるのかということに説明がない。 ・ 説明された資料の中に、保護者や子どもの声というものが入れば、説得力がある。 ・ 学校の先生の長時間労働や少人数学級など、基本的な教育問題についての説明が損なわれている。その辺が施設一体型小中一貫校でどのように改善されるのかの見通しも示していただけるとありがたい。 ・ ほとんどの案に中小学校が関連するのに、なぜ中小校区内にある施設で意見交換会が開催されていないのか。 ・ 令和14年開校目標としているが、今3~4歳の子の保護者が関わってくると思うので、その方々へも説明会等の機会を周知していただきたい。 ・ 今日意見交換会が行われているとういことを知ってる人が少ないのではないか。 ・ 案のメリット・デメリットについて、現場の先生の声聞いたという雰囲気がない。学校現場の声を全く聞いていないのではないか。当たっているかどうかは別にして、彩都の丘学園でも大学進学を見据え、中学校から私学に出て行ってしまっている人がいる。小中一貫教育とはそういう教育。 ・ 彩都の丘学園や他の小中一貫校の状況も教えてほしい。メリット・デメリットはどうか？それを、新しい船場の学校に生かして欲しい。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の説明会非常によくわかりました。1点気になったのは皆でどうするのがよいかを考える場なのに、話す側と聞く側での対立構造のように感じました。対立しない場づくりをお願いいたします。 ・ 本来意見を聴くべき相手としては「将来、その学校に通う子どもの保護者や、現在通う子や保護者」ではないのか？ ・ (説明の内容に関するご意見として)「成長」とは身体的成長に、「発達」は精神的発達に使う。説明の内容を「精神的発達・成長」に変更したらいかがか。 ・ 案によってはコスト差が100億円ある。案を変更する場合、将来的な財政負担について説明することで納得してもらえないのではないだろうか。 ・ コスト計算をどのようにしているのか不明。人口がどう変わっていくかも不明
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船場小学校の校区は1kmを超えている部分があるのではないか。 ・ 船場東の子は新しい橋を利用して新御堂筋を越えるのだと思うが、それで危険が解消されるのか。 ・ 施設一体型小中一貫校のデメリットとして「人間関係が拗れた場合にリセットする機会がない」と記載しているが、今のうちに対策案を練らないと。既に遅いくらい。 ・ 学校の教育を考える上で、少人数学級が必要。20人が国際基準になってる中で、本当に子どもの教育・先生のことを考えるのであれば、30人学級という問題をもっともっと打ち出してほしい。 ・ 大事なのは、箱(施設)ではなく、中にいる先生。今の教育長になってから、何回教員の問題が生じたか。今日の説明会もまずこれら問題についての話から始めるべきではないか。 ・ 彩都の丘学園、とどろみの森学園の学年ごとの人数について、中学校は小学校よりも少ない。私立中学に進学している影響なのか。 ・ 不登校者数について、市内の施設一体型小中一貫校と分離型とで差はあるのか。 ・ 箕面市は義務教育学校を導入しないのはなぜか。 ・ 地域の意見をいろいろ聴く姿勢はよい。コミュニティ・スクールを取り入れることは考えていないのか。 ・ 今フォーカスされているのが船場だけになっているが、北小、萱野小、萱野北小も子どもの数が減ってきているので、マスタープランというところでしっかりと箕面の良さを伝え、箕面で教育を受けてよかった、子どもが生まれたときにここで育てたいなというふうになるような形にしてほしい。 ・ 校区割りを検討する時は児童生徒数も大切だと思うが、やはり安全確保優先で、通学が一番適した校区割りにしていただきたい。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> 萱野北小校区は子どもが非常に少なくなったので（校区調整などの）対策が必要だと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 本題に対し、長年のご尽力ありがとうございます。賛否両論色々あるかと思いますが、市政を総合的に見てこの議題に対して進めて頂けたらと思います。期待しておりますので宜しくお願い致します。
	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫校問題であるにもかかわらず、市側の対応が「一貫」していない。
	<ul style="list-style-type: none"> そもそも戦後6.3.3制を教育制度として導入した意味等、専門的、歴史的、教育的な内容も教えてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> 時流にのることがよい、改革ということでは理解できない。市民、親、子どもの意見が反映されるものにしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育の教育効果とは何か？何であらわせるのか？「大阪一」とは何が一か？まちづくりの影響とは何か？